



平和のこと

「子どもたちの未来と 平和を語る集い」



「つくろう平和・守ろう子どもの未来」をメインテーマに、平和のための戦争展として42年前に北千里で始まった取り組みです。実行委員のメンバーとして、平和グループも関わって久しくなります。年間の活動などの展示発表の場です。来訪の保育所・学童の子どもたちに、平和の大切さを伝えてきました。今、いろいろな事情で子どもたちの参加が難しくなっています。また、会場も変わり、参加者の層も変化してきましたが、長い間続いているのは、皆の平和の願いのためです。集い開催時には、文集の発行と地域からのアピールの意見広告に取り組み、今では定着しています。継続は力です。



環境のこと

今冬の省エネ・節電

寒い冬はエネルギーの使用が増える季節です。特に今冬の電力は、全国で瞬間的な需要変動に対応するために必要とされる予備率3%以上を確保しているものの、厳しい見通しです。加えて、ロシアのウクライナ侵攻により、国際的な燃料価格は引き続き高い水準で推移しています。需要ひっ迫時(政府が発信)への備えをしっかりと講じつつ、無理のない範囲での節電について考えてみましょう。

電力ひっ迫時に控えると効果的な家電

- アイロン
- トースター
- 電気ポット
- 食器洗い機
- 電子レンジ
- 浴室乾燥機
- ホットプレート
- 洗濯乾燥機
- ドライヤー
- 掃除機
- IHクッキングヒーター

経済産業省資源エネルギー庁では、12月1日～3月31日まで節電を呼びかけています。

●くらし委員会『ひまわり』主催●

おもしろ●●! 今日から変わるお片付け

講師 おもしろ防災士 南あきこさん
開催日/2022年9月13日
参加/28人

毎年のようにやってくる台風や豪雨に、地震などの自然災害。防災士で整理収納アドバイザーの南さんを迎え、防災を取り入れ「開運」のお片付けを気さくな大阪弁でお話いただきました。



命と幸せを守る、お片付け

「生活イコール、命。お片付けの目的は、要らないモノを潔く見極め、家族の幸せを守り続けることなんです」と、南さん。阪神淡路大震災や子育ての経験から、防災に関わるようになりました。家が散らかっていると「欲しいモノ」が見つからないばかりか、時間も場所も無駄になる。災害時は災害そのものよりも、置いてあるたくさんのモノで命を落とす可能性が高くなるということです。



災害時、一番 大変なのがトイレ

被災後、4時間以内に必要となるのがトイレです。電気や水道が止まれば、トイレの水は流せません。「安心してできる環境がないと、出るものも出なくなる。実際にトイレ問題で命を落とす人がいるほど」と話し、ゴミ袋と凝固剤で自作トイレができることを説明しました。食品の備蓄は「ローリングストック」で。心と体を労わるため、日頃から食べ慣れているものを選びましょう。



緊急時に「正しい情報」を 入手するには

災害時は正しい情報をすばやく得て、落ち着いて行動することが大切です。情報管理は「だいふく」で。だれが発信している情報か? どの情報か? 複数 = 同じ情報を複数人が発信しているか? を判断基準に、情報の精度をあげましょう。いさぎよく、納得して避難を。



お片付けと防災はつながっています。「すっきり」も「安全」も手に入れて、今日から開運しましょう。